

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年12月22日(2016.12.22)

【公開番号】特開2014-217705(P2014-217705A)

【公開日】平成26年11月20日(2014.11.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-064

【出願番号】特願2013-100750(P2013-100750)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月4日(2016.11.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技媒体を用いて遊技が行われる遊技機であって、

当該遊技機の前面部を構成する前面扉と、

前記前面扉に設けられ、遊技者操作を受付可能な操作受付手段と、

前記前面扉に設けられ、通常状態と、移動状態とに変化可能な可動手段と、

を備え、

前記可動手段は、前記通常状態から前記移動状態に変化することによって、前記操作受付手段に対する遊技者操作を誘導しうる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

しかしながら、特許文献1に記載の遊技機のような遊技者参加型演出は周知であり、同様の構成では、遊技興味の低下を招く虞がある。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

そこで、本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、遊技興趣の低下を抑制することができる遊技機を提供することにある。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項1に係る遊技機は、

遊技媒体を用いて遊技が行われる遊技機であって、

当該遊技機の前面部を構成する前面扉と、

前記前面扉に設けられ、遊技者操作を受付可能な操作受付手段と、

前記前面扉に設けられ、通常状態と、移動状態とに変化可能な可動手段と、

を備え、

前記可動手段は、前記通常状態から前記移動状態に変化することによって、前記操作受付手段に対する遊技者操作を誘導しうる

ことを特徴とする。

また、本発明とは別の発明として以下の手段としてもよい。

手段1：

遊技者の操作によって遊技媒体が打込まれる遊技領域を有した遊技盤と、

該遊技盤を前側から脱着可能に支持する本体枠と、

扉枠と、

を備え、

前記遊技盤は、複数の装飾図柄を変動させた後に停止表示すると共に所定の演出画像を表示する演出表示装置を備え、

前記扉枠は、前記本体枠の前面に対して開閉可能に支持されると共に閉鎖した時に該本体枠に支持された前記遊技盤の少なくとも前記遊技領域が遊技者側へ臨む遊技窓を有した扉枠ベースと、

前記扉枠ベースの前面且つ前記遊技窓より下側に配置され、前方へ膨出すると共に前記遊技領域内へ打込むための遊技媒体を貯留可能な貯留部を有する皿ユニットと、

前記皿ユニットに配置され、遊技者が操作可能な接触型入力装置と、

前記接触型入力装置の近くに配置される操作指示部材と、を備え、

操作指示部材は、その動きによって遊技者に、前記接触型入力装置が操作可能であることを報知することを特徴とした遊技機、とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項1に係る遊技機によれば、遊技興趣の低下を抑制することが可能となる。